Trinity

キズナエピソード\_大鳥蒼\_01

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０

------------------------------------------

//ヴィジュアルノベル形式開始

悪魔どもとの激しい戦いに勝利した俺たち。

そんな時、俺は蒼に話しかけられた。

//ヴィジュアルノベル形式終了

//ADV形式開始

[蒼]

「オムニス、さっきはすまない。

一瞬の隙を作ってくれたことで

なんとか危機を回避することができた」

［オムニス］

「いやいや、

俺はただ叫んで敵を引きつけただけだ」

[蒼]

「でも、それだけでもかなり危うい行為だ。

危険を省みない、君の人を守る思いには恐れ入るよ」

［オムニス］

「……！」

[蒼]

「オムニス、どうした？

立ち止まったりなんかして」

［オムニス］

「……いや、なんでもない。

今日は疲れたし早く帰ろう」

//ADV形式終了

//暗転

//背景:白い部屋

//ヴィジュアルノベル形式開始

白い部屋に戻って来た俺は、感慨深くため息を吐いた。

「危険を省みない、君の人を守る思いには恐れ入るよ」

この言葉に強い既視感を覚える。

まるで学生時代の青春の匂いが思い起こされるような、

そんな感覚……。

そんな時――

//ページ切り替え

突如として、俺は耐えがたい睡魔に襲われる。

視界がぼんやりとしたモヤに包まれる中で、

俺は知りもしない記憶を垣間見た。

それは、渋谷での街……。

その時の俺は、街を歩いていた。

//ヴィジュアルノベル形式終了

//ADV形式開始

//背景:渋谷

[女の子]

「や、やめてくださいっ」

[男]

「やめてじゃねぇだろ～ぅ？

お前からぶつかってきたんだろが！

スマホばかり見てんのがいけねーんだよ！」

[とびお]

男は周りの目など気にすることなく、

女子校生の手を掴み怒鳴り散らしていた。

[とびお]

あの女の子どこかで見覚えがあるような……。

まぁ変に絡まれたくないし、ここは避けよう。

[とびお]

いや、待てよ！

あの子……確か中学のときの後輩だ。

そうだ、昔は結構仲良かったっけ。

［とびお］

「謝ったんならもういいんじゃないか？」

[とびお]

俺は意を決して、彼女と男の間に割って入った。

[女の子]

「……先輩？

とびお先輩ですよねっ！

助けに来てくれたんですか？」

[男]

「おっ、なんだぁ？

知り合いかなんだか知らねぇけど、邪魔すんじゃねえよ。

今世の中の常識を教えてやってんだよ」

［とびお］

「ぶつかったなら、前方不注意はお互い様だろう」

［男］

「ごちゃごちゃうるせーな！

関係ねぇ奴はすっこんでろ！」

[とびお]

あぁ、殴られる……。

そう覚悟して目を伏せる。

……がしかし、男の拳が俺に当たることはなかった。

［蒼］

「暴力は良くないな。

状況はよくわからないが、

話し合いをしていたんだろう？」

[女の子]

「蒼先輩っ！」

［男］

「なんだてめぇは！

手え離しやがれ！」

［とびお］

腕を掴んだ女の子を殴ろうとした男は、

一瞬で腕を捻り上げられ、ひざまずかされていた。

［蒼］

「暴力は良くないと言ったばかりだが……。

聞こえなかったのか？」

［男］

「いてぇ！　はなせぇぇ！」

［蒼］

「暴力は振るわないと誓うか？」

［男］

「ち、誓う！　誓うから離してくれ……」

［女の子］

「ああ、蒼先輩……超かっこいい……」

［男］

「いてて……くそがっ！　覚えてろよ！」

［蒼］

「行ってしまったな……。

大丈夫だったか？」

［女の子］

「はいぃ！　蒼先輩、本当にありがとうございます！」

［蒼］

「先にお礼を言う相手がいるだろう？」

［女の子］

「あ、はい！　あざした！」

［とびお］

「……いや、俺はほとんど何も出来なかったしな……。

むしろ俺の方こそありがとう」

［蒼］

「いやいや、君が助けに入ってなかったら、

オレは間に合わなかったかもしれない。

危険を省みない、君の人を守る思いには恐れ入るよ」

[蒼]

「オレの後輩を助けてくれてありがとう」

［とびお］

「俺にとっても知らない相手じゃなかったし……」

［女の子］

「蒼先輩！　また絡まれたら超怖いから、

家まで送ってくれませんか……？」

［蒼］

「ああ、かまわないが……」

［女の子］

「やった！　じゃあ行きましょう！」

［蒼］

「おい、ひっぱるな！」

［とびお］

結局俺が中学の先輩だという事には

気づかなかったようだ。

［とびお］

「まぁ、いいんだけどな……」

//1話END